

# 品川区水害のないまちづくり

品川区は東京都と連携して  
浸水対策事業を進めています。



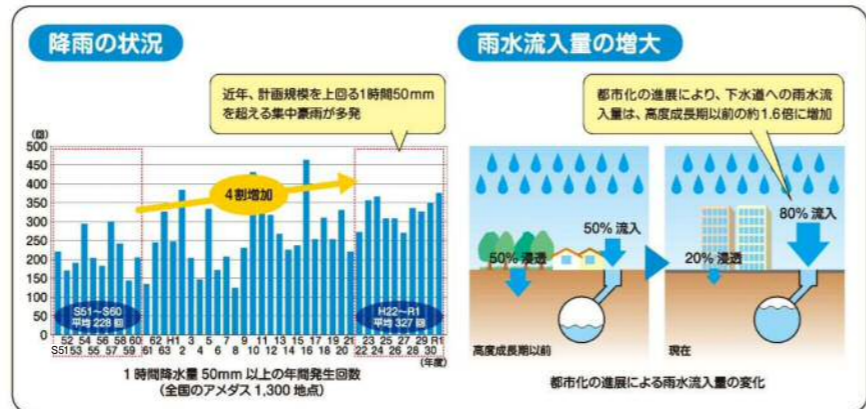
## 水害に強いまちづくり

近年、地球温暖化等の気候変動により、大雨の頻度が増えたり台風が激化していると考えられています。品川区ではこうした災害に備えて、東京都と連携し、水害に強いまちづくりのための様々な取り組みを行っています。

### 水害の種類とは…

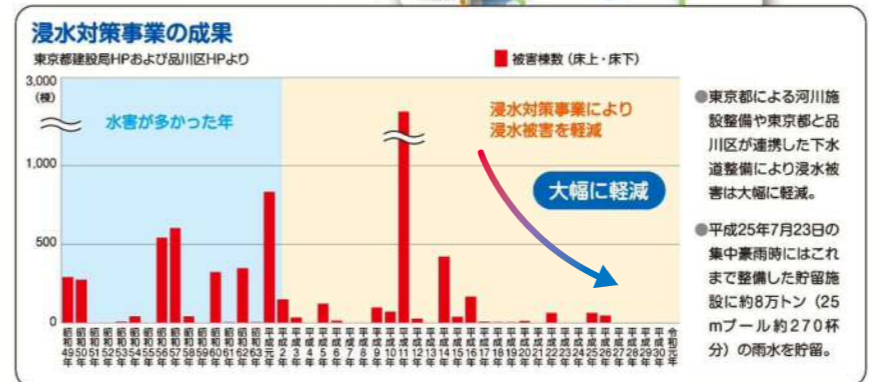
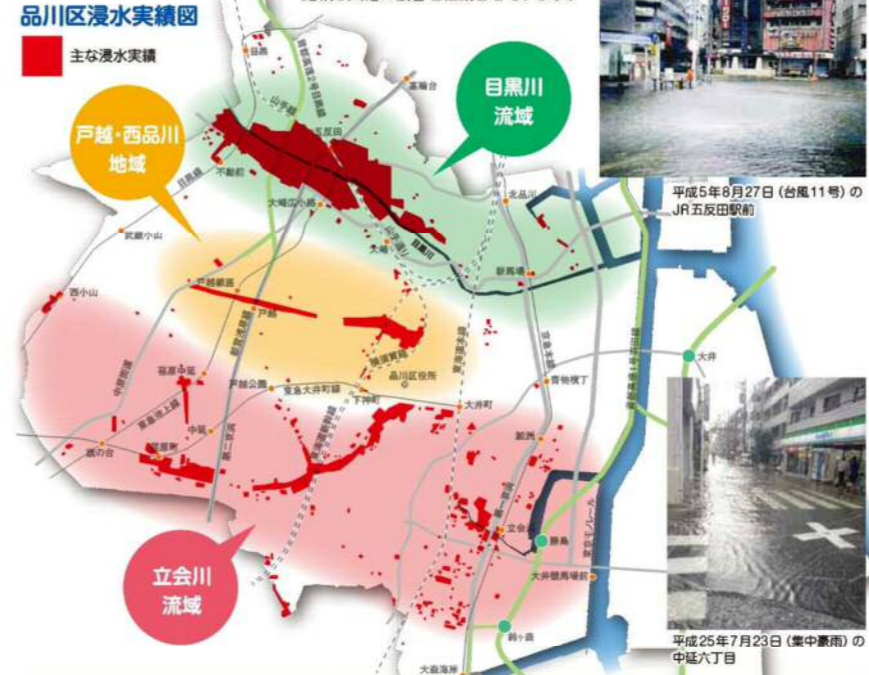
- 大雨などで河川の水が増え、堤防から水が溢れて起きる水害。
- 集中豪雨などで下水道で流しきれない大量の雨水がマンホールなどから溢れ出すことによる水害。
- 近年の局地的な大雨や集中豪雨、都市化の進展で木々や土の地面が減少し河川や下水道に流れ込む水の量が増えたことや、地下室や地下街の設置数の増加といった土地利用の高度化等によって都市部の浸水被害のリスクが増大。

### 降雨状況と土地利用の変化



## これまでの品川区内の浸水被害と対策事業の成果

目黒川沿いの五反田一帯や立会川や立会道路周辺、戸越銀座一帯は周囲に比べ地盤が低いため、過去多くの浸水被害が発生し、区内では特に平成11年8月29日に時間最大77ミリの集中豪雨により約2,800棟の浸水被害が発生しました。一方、区では都と連携して様々な対策を積極的に進め、平成25年7月23日の集中豪雨では時間最大74ミリを記録し約60軒の浸水被害が発生しましたが、以前と比較し大幅に被害を軽減させています。



## 関連するホームページのご紹介

品川区ホームページ <https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>

#### 水防土のう置場一覧

●品川・大井・荏原の各地区ごとに水防土のう置場の位置を確認することができます。

●土のうは区民が自由に利用することができます。

水防土のう配置例

#### 河川水位情報

●区では水害に備え目黒川、立会川に水位計を設置しています。

●現在の河川水位を確認することができます。

#### 浸水ハザードマップ

●浸水が予想される範囲や遊覧場所の位置などを確認することができます。

トップページ▶防災・くらしの安全▶防災▶台風や集中豪雨に備えて▶風水害に関するハザードマップと浸水実績

#### 区内標高検索システム

●区内の標高を画面上で確認することができます。

●クリックした地点の標高が表示されます。また、住所検索機能により、簡単に地点を検索できます。

トップページ▶防災・くらしの安全▶防災▶地震に備えて▶津波対策▶区内の標高と津波、高潮について

#### 東京アメッシュ(東京都下水道局)

<https://tokyo-ame.jwa.or.jp/>

●どこで、どれくらいの量の雨が現在降っているのか確認することができます。

#### 過去の水害記録(東京都建設局)

<https://www.kansetsu.metro.tokyo.jp/>

●過去に発生した浸水被害の状況について確認することができます。

#### 東京都防災総合情報システム(東京都建設局)

<http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/im/tsim0101g.html>

●東京都で観測している現在の雨の量や川の水位等の状況を確認することができます。

#### 気象庁ホームページ

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

●天気図等の気象情報や台風、地震、火山の情報を確認することができます。

#### 東京都下水道局

<https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/>

●東京都で実施している下水道事業の現状や取組、成果等について紹介しています。

#### 東京都建設局(河川)

<https://www.kansetsu.metro.tokyo.lg.jp/jiyou/river/index.html>

●東京都で実施している河川の氾濫を防ぐための護岸の整備等の河川事業を紹介しています。

お問合せ先 品川区 防災まちづくり部 河川下水道課 下水道整備係  
TEL 03-5742-6796

# 区民の安全・安心を支える様々な浸水対策

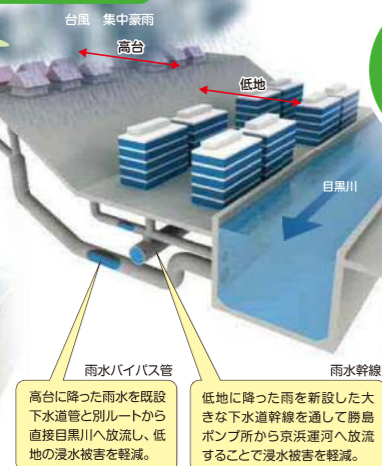
品川区は東京都から下水道事業の一部を受託し昭和62年度から浸水対策を連携して実施

## 目黒川右岸 雨水バイパス管、雨水幹線の整備

- 目黒川沿いの五反田一帯は大雨の際、低地部等で浸水被害が発生。
- 品川区は雨水バイパス管や雨水幹線を整備。雨水バイパス管の直径：約1.2m～3.3m 延長：約1700m 雨水幹線の直径：2.6m 延長：約1500m

事業者：品川区  
事業完了年度：平成16年度（雨水バイパス管）  
平成21年度（雨水幹線）

### 事業完了後



## 目黒川流域



## 戸越・西品川地域

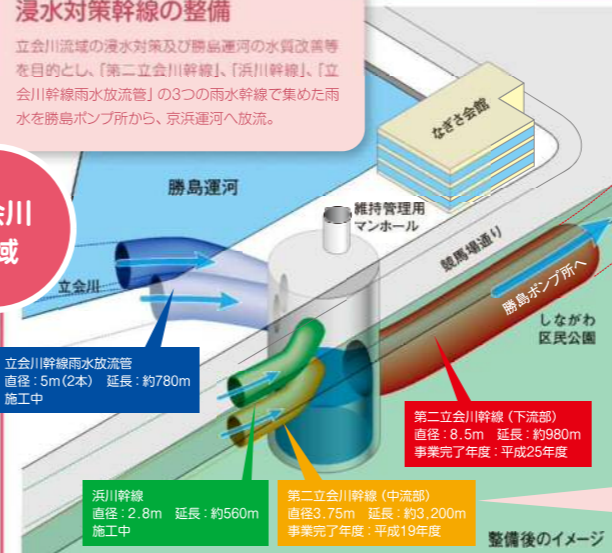
### 第二戸越幹線の整備(施工中)

- 戸越・西品川地区周辺は周囲と比較し地盤が低いため、大雨の際、度々、浸水被害が発生。
- これまで貯留管や調整池を整備。
- 大雨の際、目黒川に雨水を排水する第二戸越幹線を新たに整備し、既設の戸越幹線と併用で活用。直径：3.5m 延長：約2,700m

### 浸水対策幹線の整備

立会川流域の浸水対策及び勝島運河の水質改善等を目的とし、「第二立会川幹線」、「浜川幹線」、「立会川幹線雨水放流管」の3つの雨水幹線で集めた雨水を勝島ポンプ所から、京浜運河へ放流。

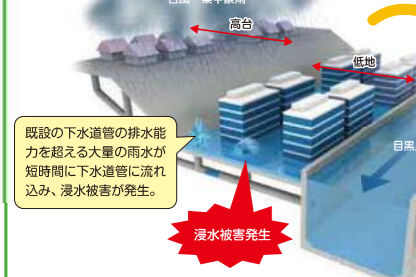
## 立会川流域



### 第二立会川幹線(中流部)

- 第二立会川幹線(中流部)は中延五丁目にある荏原町公園から勝島三丁目にある区立舞察場なぎさ会館橋の立坑(工事用縦穴)までの道路下に設置。その他の施設の整備が完了するまでは暫定的に貯留管として利用。
- 立坑(工事用縦穴)は事業完了後、維持管理用マンホールとして使用。直径：3.75m 延長：約3,200m 暫定貯留量：35,000m³

### 今までは



## 東京都による河川施設整備例

### 目黒川荏原調節池の整備

- 台風などの大雨で川の水位が上昇した際、水を取り込み、浸水被害を軽減。
- 入った水は川の水位が低下した後、ポンプで汲み上げ、川へ放流。
- 川の水を取り入れる取水施設と、その水を一時貯留する施設により構成。貯留量：20万m³

事業者：東京都  
事業完了年度：平成14年度

調節池の上は、高齢者福祉施設等の公共施設を建設し、有効利用しています。



## 主な浸水対策事業

- | 事業名       | 貯留量 | 事業実施年度 | 品川区事業                                   |
|-----------|-----|--------|---|
| — 幹線      |     |        | 汚水や雨水を水再生センター・ポンプ所へ送る大きな下水道管            |
| — 浸水対策幹線  |     |        | 雨水の流下能力を増強するための幹線                       |
| — 雨水バイパス管 |     |        | 既設の下水道管の汚水や雨水の流下能力を補うため、新たに設置した下水道管     |
| — 調節池・調整池 |     |        | 雨水を一時的に貯留する貯留池(調節池：川の水を貯留、調整池：内水を貯留)    |
| — 貯留管     |     |        | 雨水を一時的に貯留する管きょ                          |
| ◎ ポンプ所    |     |        | 低い場所の下水道管を流れる雨水をポンプで汲み上げて運河などに放流するための施設 |
| -----     |     |        | 施工中                                     |

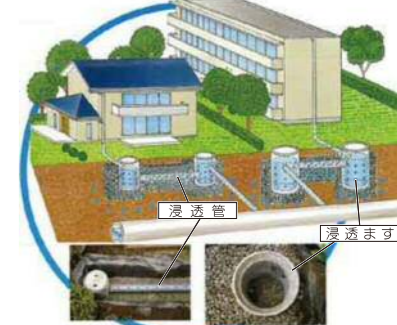
## その他の浸水対策事業例

浸水対策に寄与する様々な助成事業を行っています。詳細は河川下水道課まで。

### 雨水浸透施設設置助成

宅地内のますやますをつなぐ排水管を浸透式に変更し、下水道に流れ込む雨水を減らすことで、浸水被害の軽減に繋がります。

- <助成対象> 区内の宅地内に浸透ますなどの浸透施設を設置する方(助成条件あり)
- <助成内容> 設置工事費(上限40万円)



### 防水板設置助成

大雨による浸水被害を防ぐため、住宅・店舗・事務所などの出入口に防水板を設置しておくことで安心です。

- <助成対象> 区内の住宅・店舗等に防水板を設置する方(助成条件あり)
- <助成内容> 個人=設置費用の4分の3  
法人=設置費用の2分の1 (区内に住居登録している個人、登録後1年以上の法人は上限100万円、その他は上限50万円)



### 雨水利用タンク設置助成

屋根に降った雨水をタンクにためることで、雨水流出の抑制を図ります。また、ためた雨水を庭木の水やりなどに利用することで雨水の有効活用ができます。

- <助成対象> 区内に雨水利用タンクを設置する方
- <助成内容> タンク本体購入費と設置工事費の合計の2分の1(上限5万円。そのうちタンク設置工事費の上限は1万5千円)

